

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果について

1 調査対象

平成30年4月17日実施

| | 対象学校数 | 児童生徒数 |
|-----------|-------|----------|
| 小学校（第6学年） | 311校 | 約16,800人 |
| 中学校（第3学年） | 168校 | 約16,900人 |

2 教科に関する調査

(1) 平均正答率

<小学校>

| 教科 | | 年度 | 平均正答率 (%) | | | |
|----|-------|----|-----------|------|------|------|
| | | | 30年度 | | 29年度 | 28年度 |
| 国語 | A知識 | 本県 | 71 | 75 | 72 | 71.1 |
| | | 全国 | 70.7 | 74.8 | 73 | 70.0 |
| | B活用 | 本県 | 54 | 57 | 57 | 64.2 |
| | | 全国 | 54.7 | 57.5 | 58 | 65.4 |
| 算数 | A知識 | 本県 | 62 | 78 | 78 | 74.9 |
| | | 全国 | 63.5 | 78.6 | 78 | 75.2 |
| | B活用 | 本県 | 50 | 44 | 46 | 43.2 |
| | | 全国 | 51.5 | 45.9 | 47 | 45.0 |
| 理科 | 知識・理解 | 本県 | 61 | | | 61.7 |
| | | 全国 | 60.3 | | | 60.8 |

<中学校>

| 教科 | | 年度 | 平均正答率 (%) | | | |
|----|-------|----|-----------|------|------|------|
| | | | 30年度 | | 29年度 | 28年度 |
| 国語 | A知識 | 本県 | 77 | 79 | 77 | 77.0 |
| | | 全国 | 76.1 | 77.4 | 76 | 75.8 |
| | B活用 | 本県 | 63 | 75 | 69 | 67.4 |
| | | 全国 | 61.2 | 72.2 | 67 | 65.8 |
| 数学 | A知識 | 本県 | 67 | 65 | 63 | 65.3 |
| | | 全国 | 66.1 | 64.6 | 62 | 64.4 |
| | B活用 | 本県 | 48 | 50 | 46 | 42.6 |
| | | 全国 | 46.9 | 48.1 | 44 | 41.6 |
| 理科 | 知識・理解 | 本県 | 69 | | | 57.0 |
| | | 全国 | 66.1 | | | 53.0 |

※各年度の平均正答率は、文部科学省が公表した数値で示している。

【全体的な傾向】

<小学校>

- 国語の「知識」「活用」及び理科は、全国平均と同程度であった。
- 算数の「知識」「活用」は、全国平均を下回った。

<中学校>

- 全ての教科に関する調査において、全国平均を上回った。

【現中学校3年生の小学校6年生当時(平成27年度)の調査結果との比較から】

- 小学校6年当時と比較し、今回の調査では全体的に学力が伸びている様子がうかがえる。

(2) 全国の平均正答率と比較して特徴の見られる設問

<小学校>

| | 正答率(全国比較) | 設問 | 問題の趣旨・内容 |
|-----|-------------|--------|---|
| 国語A | 74.5%(+1.1) | A 8ア | ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う |
| | 72.5%(-1.5) | A 4 | ・登場人物の心情について、情景描写を基に捉える |
| 国語B | 52.3%(+0.0) | B 3二 | ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む |
| | 47.8%(-1.6) | B 3一 | ・目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む |
| 算数A | 58.0%(+2.4) | A 7(2) | ・直径の長さと同周の長さの関係について理解している |
| | 81.0%(-6.8) | A 4(1) | ・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している |
| 算数B | 74.5%(+2.8) | B 1(1) | ・合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる |
| | 67.0%(-3.5) | B 2(1) | ・示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる |
| 理科 | 44.6%(+2.7) | 3(4) | ・太陽の一日の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適応できる |
| | 54.1%(-1.3) | 2(2) | ・土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる |

<中学校>

| | 正答率(全国比較) | 設問 | 問題の趣旨・内容 |
|-----|----------------------------|---------|--|
| 国語A | 71.1%(+8.1) | A 8六2 | ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む |
| | 21.0%(-1.3) | A 8四2 | ・目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く |
| 国語B | 58.9%(+4.3) | B 2三 | ・全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す |
| | 46.5%(+0.6) | B 1一 | ・文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える |
| 数学A | 78.8%(+9.8) | A 1(2) | ・絶対値の意味を理解している |
| | 64.5%(-3.9) | A 14(1) | ・最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解している |
| 数学B | 45.3%(+3.0) | B 4(3) | ・付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる |
| | 15.7%(-0.3) | B 5(1) | ・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる |
| 理科 | 65.0%(+7.8) | 5(1) | ・神経系の働きについての知識を身に付けている |
| | 76.7%(+0.2) 47.1%(+0.2) | 2(2) | ・濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘できる ・濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる |

3 質問紙による調査（全国と比較して特徴の見られるもの） ※【 】全国平均との差

(1) 児童生徒質問紙

<小学校>

- ・今住んでいる地域の行事に参加している。【小+7.3】（中+0.8）
- ・家で、学校の授業の予習・復習をしている。【小+3.2】（中+0.5）
- ・自分にはよいところがあると思う。【小+3.1】（中+3.5）
- ・5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった。【小-1.5】（中+1.1）
- ・今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題において、最後まで努力した。【小-1.0】（中+3.2）

<中学校>

- ・理科の授業において、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。【中+8.3】（小+0.5）
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。【中+5.4】（小+3.3）
- ・将来の夢や目標を持っている。【中+3.7】（小+1.5）
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。【中-0.4】（小+1.6）
- ・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。【中-0.2】（小+1.1）

(2) 学校質問紙

<小学校>

- ・算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施した。【小+36.0】
- ・算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った。【小+12.0】（中+6.2）
- ・理科の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行った。【小+12.0】（中+1.9）

<中学校>

- ・前年度に、数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った。【中+14.4】（小+2.9）
- ・前年度に、数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした。【中+12.7】（小+0.8）
- ・家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた。【中+9.6】（小-0.2）
- ・理科の指導に関して、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行った。【中+9.2】（小+1.9）

<小中学校共通>

- ・前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。【小-26.8、中-17.6】
- ・個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している。【小-19.6】
- ・教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している。【中-12.7】
- ・地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った。【小-1.4、中-11.3】

4 今後の取組

<県教育委員会>

- 「全国学力・学習状況調査」分析委員会
期 日：7月31日（火）、8月24日（金）
内 容：正答率の低い設問や質問紙調査の傾向から課題点を分析し、今後の学習指導の改善点等を示した結果分析資料を作成する。また、結果分析資料は、各学校において活用できるようにする。
- 「確かな学力」育成プロジェクト会議
期 日：8月10日（金）
内 容：学識経験者、市町村教育長代表、小・中学校長会長、県教委関係者などからなる会議を実施し、「全国学力・学習状況調査」の結果等を基に、本県の学力向上に向けた課題及び施策の方向性、指導資料「はばたく群馬の指導プランⅡ」の作成に関わる協議を行う。
- 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導の改善・充実にに向けた説明会
期 日：8月30日（木）
内 容：希望する小学校教諭を対象に、国語、算数、理科の調査結果から明らかになった県の課題及び課題を踏まえた指導の改善・充実等について、分析委員会で作成した結果分析資料を基に説明する。
- 小中学校長会理事会
期 日：小学校長会 9月6日（木）
 中学校長会 9月5日（水）
内 容：全国学力・学習状況調査の結果等について説明する。
- 校内研修在り方フォーラム
期 日：小学校 12月5日（水）
 中学校 11月9日（金）
内 容：教員の資質・能力の向上を図るための校内研修を実施する一助となるよう、事例発表等を行う。

<市町村教育委員会>

- 国から送付された市町村の結果を、国や県の結果と比較するなどして各市町村教育委員会の課題を明確にし、教育施策の改善に取り組む。

<学校>

- 自校の結果と国や県、市町村の結果との比較、課題のある設問の分析、正答数分布の分析など、様々な面から調査結果を分析することにより、自校の課題を明らかにする。
- 分析結果を基にこれまでの取組を検証し、各学校が設置している学力向上委員会を核に組織的・継続的に授業改善に取り組む。
- 学力向上を含む学校の課題を明らかにし、課題を解決できるよう校内研修の在り方を見直し、質の向上を図る。
- 児童生徒一人一人の結果を示した個人票を活用して個々の児童生徒の学力の状況を把握し、日々の指導に生かす。